

平成26年度 事業報告書

I. 国際体験創造事業

次代を担う青少年や市民各層に対し、外国人との直接的な交流による異文化体験の機会を提供し、国際性豊かな人材を育成するとともに、本協会の他事業への参画も図ることで、松山の国際化に向けた人材の活用に努めた。

1. 第32回 まつやま中学生海外派遣

中学生を姉妹・友好都市へ派遣し、現地での交流や異文化体験を通じて、未来を担う青少年の国際感覚を養い、国際性豊かな人材の育成に努めた。

(1) 応募・選考

1年間の国際交流事業への参加実績に応じてポイントを付与し、翌年度の派遣事業への応募資格とする「中学生チャレンジプロジェクト」を実施。派遣前に松山で活動できる国際交流事業に参加し、その意義を学び、楽しさを体感することで、派遣後も引き続き地域の国際交流に貢献できる人材の育成を目指した。

4ポイント以上の参加により、応募資格を獲得した生徒は87人。面接審査により、3年生22人・2年生20人・合計42人（16校）を選考した。

(2) 事前研修及び結団式・壮行会

事前研修：4回開催

結団式・壮行会：7月13日 14:00～15:15

(3) 派遣

①アメリカ班

期 間：7月22日～8月1日 11日間

訪 問 先：サクラメント、ロサンゼルスほか

派 遣 団：中 学 生 16人（男子8人、女子8人）

団 長 近 藤 一 茂（日 浦中学校 校長）

引率教師 森 本 尚 子（三津浜中学校 教諭）

〃 前 田 満里菜（道 後中学校 教諭）

協会職員 田 中 早 苗

活動内容：【サクラメント】

- ・州議事堂、市庁舎、オールドサクラメントの街並み等の見学
- ・コロマ金鉱での発掘体験
- ・州最大のお祭り「カリフォルニア・ステート・フェア」の見学
- ・現地姉妹都市協会との交流会
- ・ホームステイ ほか

【ロサンゼルス】

- ・カリフォルニアサイエンスセンター、全米日系人博物館見学
- ・メジャーリーグ観戦
- ・UCLAキャンパスツアー
- ・ユニバーサルスタジオリゾートツアー
- ・グリフィス天文台夜景見学 ほか

②ドイツ班

期 間：7月18日～7月30日 13日間（大阪前泊）

訪 問 先：フライブルク、インスブルックほか

派 遣 団：中 学 生 16人（男子6人、女子10人）

団 長 村 上 典（鴨川中学校 校長）

引率教師 二 宮 真 美（雄新中学校 教諭）

〃 中 村 一 弘（旭中学校 教諭）

協会職員 向 井 かおり

活動内容：【フライブルク】

- ・エコステーション、サッカースタジアムでの環境学習
- ・旧市街でのオリエンテーリング、フライブルク大学見学
- ・ホームステイ、ホストファミリーとの交流会
- ・学校訪問による青少年交流 ほか

【インスブルックほか】

- ・アルプスハイキングと環境保護学習
- ・自然体験と野外英語研修
- ・アルプス動物園見学
- ・農家体験と現地の子どもたちとの交流 ほか
（荒天のため日程を1日延長）

③韓国班

期 間：7月25日～7月29日 5日間

訪 問 先：平澤市、ソウル市

派 遣 団：中 学 生 10人（男子6人、女子4人）

引率教師 八 塚 久（久米中学校 教諭）

〃 片 岡 祐 子（道後中学校 教諭）

協会職員 鈴 木 美 貴

活動内容：「韓中日青少年国際キャンプ」として、韓国平澤市と中国寧波市、秋田県、青森市、松山市の3カ国5都市の青少年が交流した。

- ・韓国伝統民俗遊び、調理体験、陶芸体験
- ・ホームステイ
- ・ソウル市内見学 ほか

（4）報告会

日 時：8月23日 13:30～15:20

会 場：コムズ5階 大会議室

内 容：米独韓3班による報告

26年度チャレンジプロジェクト登録生徒32人が参加

(5) 報告書の発行

報告書：A3・8頁 1,500部（市内中学校全クラスへ枚数を配布）

(6) 26年度チャレンジプロジェクト

- ・市内全中学校への案内文書の発送やホームページへの掲載のほか、4月20日に説明会を開催するなど、登録生徒を募集
- ・中学生に相応しい国際交流、体験活動を随時実施。31事業に延べ444人が参加し、86人が27年度派遣への応募資格となる4ポイント以上を獲得した。

2. 姉妹・友好都市からの青少年受入交流

姉妹・友好都市からの青少年を受け入れ、日本文化の体験やホームステイ等、松山の青少年との交流機会を創出し、国際理解と友好親善を図った。

(1) 韓国観光高校（平澤市）修学旅行

25年度平澤市出張時に同校を訪問し松山をPRした結果、韓国観光高校日本語学科の修学旅行が実現した。

- ・期間：4月9日～11日
- ・内容：日本文化体験（水軍太鼓・プラネタリウム等）
河原学園訪問及び、生徒との交流
防災体験（於：松山市防災センター）
ボランティアガイドの案内による松山城観光
ホームステイ

(2) 平澤市青少年受入交流

まつやま中学生海外派遣・韓国班の中学生が、現地でパートナーとなった平澤市の中学生を受け入れ、野外活動や日本文化体験、ホームステイ等の交流を行った。

期間：8月1日～8月5日 5日間

参加者：平澤市中学生10人・引率者3人

松山市中学生10人

交流内容：浴衣着付け、風呂敷体験（指導：松山市シルバー人材センター）

料理づくり体験（指導：松山・平澤友好協会）

松山市考古館「銅鏡づくり、火おこし体験」

しまなみ海道ツアー（来島海峡大橋・西条アサヒビール工場視察）

食品サンプル製作体験

ホームステイ ほか

3. 海外からの親善訪問団等受入

姉妹・友好都市からの訪問団を受け入れ、親睦を図ったほか、海外からの文化・スポーツ・教育関係者など、様々な個人・団体が来松した機会を捉え、市民との交流機会を創出し、国際理解の促進に努めた。

(1) 姉妹都市提携25周年記念フライブルク市代表团

姉妹都市提携25周年を機にフライブルク市長をはじめとする12人の代表团が来松し、記念行事を実施。滞在期間中には、交流関係者との協議や、市民との直接交流の機会を設け、さらなる友好都市交流の促進を図った。

- ・期 間：4月4日～7日
- ・内 容：松山市長表敬訪問、記念植樹
環境フォーラム参加及び環境フェア視察
北条まちづくり協議会との交流会
文化体験やボランティアガイドによる観光案内

(2) 日EU英語俳句コンテスト最優秀受賞者 ロベルト・ロンメンさん

EU及び外務省が主催する同コンテスト最優秀賞の副賞としてドイツからロベルト・ロンメンさんが来松したことに伴い、観光案内やボランティアガイドの派遣、文化体験等をコーディネートした。

- ・期 間：9月21日～23日
- ・内 容：ボランティアガイドによる観光案内やしまなみ海道サイクリング、日本文化体験など

(3) フライブルク市民親善訪問団受入れ

フライブルク市の公募により集まった市民親善訪問団18人を受け入れ、文化・観光の魅力を紹介するとともに、交流団体や市民との直接交流の機会を作り、さらなる親睦を深めた。

なお交流に際しては、フライブルク大学への留学経験者やボランティアガイドが通訳を務めた。

- ・期 間：10月5日～8日
- ・内 容：松山城・道後温泉観光
銀天街神輿パレード出発式参加(協力:銀天街第一商店街振興組合)
日本文化体験(指導:松山市シルバー人材センター)
松山フライブルク会による歓迎交流会
しまなみ海道ツアー

(4) ジャズハーピスト 古佐小 基史さん

松山市出身でサクラメント市を拠点として活動する古佐小基史さんが公演のため帰松した機会に、生徒を対象とした交流事業を実施した。

- ・内 容：①10月25日 チャレンジプロジェクト「世界で暮らす日本人」開催
中学生19人が参加し、ハーブ演奏・講話
②10月30日 松山市立雄郡小学校
6年生85人に対し、ハーブ演奏・講話

(5) 南ソウル大学日本語学科

同大学生21人が愛媛大学との交流プログラムで来松した機会を捉え、「交流ボランティアのための語学講座」韓国語の受講生との交流の場を創出する等した。

- ・期 間：12月25日

- ・内 容：講座の受講生達と、お互いの国の料理づくり通じて、交流を行った。

(6) 友好都市提携10周年記念平澤市代表団受入れ

友好都市提携10周年を機に平澤市長・市議会議員をはじめとする訪問団19人が来松。松山市や松山・平澤友好協会と連携し、交流関係者との意見交換やボランティアガイドによる観光案内を実施し、友好都市交流の促進を図った。

- ・期 間：2月6日～8日
- ・内 容：松山市長表敬訪問
学校訪問、愛媛マラソン視察
ボランティアガイドによる観光案内

(7) 愛媛マラソン平澤市選手団

今年度は友好都市提携10周年訪問団の団員として平澤市マラソン連合会会長及び選手4人が来松。平澤港マラソンに松山市選手団が参加したことに伴う相互交流となっており、コース・会場の視察、陸上競技関係者との交流を実施した。

- ・期 間：2月6日～10日
- ・内 容：愛媛マラソンへの選手4人の参加及びコース視察、前夜祭参加
マラソン競技関係者との協議

※ その他、海外からの国際交流団体や行政視察団、各国外交官等の来松に際し、松山市との連携により、通訳やアテンド、市民交流のコーディネート等を行った。

4. 地球人まつり

E P I Cとの共催により、18回目となる「地球人まつり in まつやま・えひめ」を開催し、外国人市民が市民と一緒に自国を紹介するブースを出展することで、外国の歴史や文化に親しみながら市民とふれあう機会を提供し、身近な国際交流の促進を図った。

また、各ブースのボランティアスタッフとして参加した市民は、企画・準備から運営までを外国人市民とともに行うことで、より深い交流を促進した。

- ・日 時：1月18日 12:00～16:00
- ・場 所：松山市総合コミュニティセンター 企画展示ホール1F・2F
- ・出 展：世界各国ブース 22ブース（前年比5減・モザンビーク初参加）
フードコーナー 8カ国
民族衣装試着コーナー
パフォーマンス出演 13グループ
- ・ボランティア数：外国人市民43人・市民ボランティア158人
（うち、チャレンジプロジェクト登録生徒46人）
- ・来 場 者：約1,700人
- ・そ の 他：2階に愛媛県国際交流協会が主催する県内国際交流団体の活動紹介
ブースが出展

5. フライブルク市寄贈ぶどう活用

フライブルク市から寄贈され、松山市野外活動センター内の「フライブルク友好ぶどう園」において市が栽培しているぶどう（品種名：ソラリス）の収穫した果実からジュースと飴を製造し、「国際交流サロン」等のイベントで配布・活用した。

- 製造品
 - ・ぶどうジュース 273本
(250ml 瓶)
 - ・ぶどう飴 600袋 (10個入り)

II. 共生支援事業

外国人も「同じ地域で生活する住民である」ということを認識し、住民生活に必要な支援を行った。また、外国人の地域行事への参加を促し、地域への溶け込みを図るとともに、市民や地域の国際理解を深め、多文化共生を推進した。

1. 外国語としての日本語教室

外国人市民が日常の生活に必要なコミュニケーションを日本語で行えるよう、レベル別に分けて基礎講座を開催した。

講座名	曜日	時間	年間回数 (回)	登録者数 (人)	
				前期	後期
平日	初級Ⅰ	火曜	13:00~14:30	30	20
	初級Ⅱ	木曜	13:00~14:30	23	31
	初級Ⅲ	木曜	14:45~16:15	30	20
夕方	初級Ⅰ	火曜	18:30~20:00	15	18
	初級Ⅱ・Ⅲ	火曜	18:30~20:00	11	9

○託児サポート：子どもを持つ外国人市民も受講できるよう託児サポートを実施。

- ・利用者：前期4人、後期2人

○にほんご de はなそう：市民グループ「にほんご町内会」との共催で、計6回開催。

日本人と外国人の参加者が、日本語でコミュニケーションを図り、身近な話題をテーマに情報交換を行った。

2. 留学生支援団体助成

外国人留学生を中心とした外国人市民の生活をサポートするため、生活必需品の提供活動を行う民間団体に対し、助成を行った。

団 体 名	事 業 内 容	助成金額 (総事業費)
シェア・ライフ・デザイン	市内各戸に呼び掛け、まだ使える生活必需品や余剰品を集め、留学生に提供。年間700件を超える余剰品を回収し、洗濯機や冷蔵庫、自転車など、生活用品全般を留学生やへ提供した 主な経費：倉庫使用料、車借上げ料、ごみ処理費	400,000 円 (799,875 円)

3. 国際交流サロン

外国人市民との交流の中で、市民が世界の様々な文化・生活習慣・価値観等を学び、国際交流へ参加するきっかけとして「国際交流サロン」を開催した。

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	4月13日	【中国ふれあいサロン】 中国茶文化（茶の種類や茶器について）、京劇、中国舞踊などの紹介や、京劇の舞台用化粧である臉譜（れんぷ）を体験するなど中国文化に親しんだ	36
2	5月18日	【外国語 de おしゃべり】 4人の外国人ゲストを招き、英語と韓国語でおしゃべりを楽しむ会を開催。コミュニケーション能力の向上と多文化共生意識の向上を図った	24
3	6月8日	【スイスサロン】 スイス出身の講師を招き、スイスの民族衣装、チーズ、チョコレートを通じてスイスについての理解を深め、絵本作りワークショップを行った（親子での参加を可能とした）	32
4	9月6日	【なぜ今、マレーシアが熱いか！】 マレーシア出身のゲストを招き、ビデオやスライドによる国の紹介や、バンブーダンスの体験などを通してマレーシアを身近に感じた	32
5	11月8日	【おいしいルーマニアでとるコーヒーブレイク】 ルーマニア、トルコ出身の留学生3人を招き、27の国の文化を学び、コーヒー、茶、料理を通じ、それぞれの国に親しみを持つ講座を開催した	27
6	1月31日	【太極拳を通して、東洋が見える?!】 《コムズフェスティバル事業として開催》 太極拳のワークショップで身体を動かしながら、東洋医学の歴史や健康の考え方についても学んだ	35
7	3月22日	【グレートアメリカ&ほっこりサロン】 アメリカ出身の講師を招き、国の紹介を行ったほか、家庭でも簡単にできる発泡入浴剤を作るワークショップを実施した	32
合 計			218

4. ジュニア国際交流「コスモリアン入門教室」

小・中学生を対象に、多文化共生意識の醸成やコミュニケーション能力の向上を目的とした講座等を開催し、心に国境をもたない“コスモリアン”の育成を図った。

(1) 国際理解教育の支援

職員による出前講座や職場体験を開催したほか、学校からの依頼を受け、授業へ留学生らを派遣するなど、「国際理解教育」への支援を行った。

内 容	小 学 校	中 学 校	そ の 他
① 職場体験／出前講座	1回（134人）	7回（143人）	—
② 学校等への外国人派遣	5回（19人）	3回（21人）	1回（5人）

※延べ人数、①は参加生徒数 ②は派遣した外国人数

(2) コスモリアン教室

JICA四国・松山ユネスコ協会などの民間国際団体との連携により、ワークショップを開催したほか、外国人や海外生活者と直接交流できる機会を設け、青少年の異文化体験や国際理解に努めた。

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	6月1日	【発見！世界遺産とわたしの街のたからもの①】 ≪松山ユネスコ協会との連携≫ 世界遺産をカルタやビンゴゲームで楽しく知るとともに、その意義を学ぶとともに、自分たちに身近な宝物についても考えた	23
2	6月15日	【発見！世界遺産とわたしの街のたからもの②】 ≪松山ユネスコ協会との連携≫ 6カ国の留学生に、それぞれの国について紹介してもらったほか、世界遺産についてのグループディスカッションを行って交流と理解を深めた	29
3	7月5日	【のぞいてみよう！国際協力の世界①】 ≪JICA四国との連携≫ ○元青年海外協力隊員体験談：エジプト ○ワークショップ： 絵本「世界一美しいぼくの村」のエンディングをグループで考えた。実際のエンディングを教えてもらい、戦争について一人一人が考える機会となった	23
4	8月20日	【体感！フライブルク】 日本体験集中プログラムで松山に滞在中のフライブルク市民を講師に迎え、ドイツの学校や生徒たちの様子を聞いたほか、フライブルクにちなみ「自然の素材で絵を書く」ワークショップにも挑戦した	22
5	9月28日	【体感！サクラメント】 サクラメント出身の2名の講師を迎え、アメリカやサクラメントの生活の様子を英語で紹介しても	28

		らい、さらにゲームを通して、理解を深めた	
6	9月28日	【体感！ピョンテク】 愛媛県国際交流員（韓国出身）と、松山市のコリアンパーカッショングループを講師に迎え、韓国の文化・生活・伝統の遊びなどについて学んだほか、伝統打楽器の演奏にも挑戦した	9
	10月13日 (中止)	【世界寺子屋運動って何？ユネスコの国際協力①】 ≪松山ユネスコ協会との連携≫ 日本ユネスコ協会連盟のアフガニスタン・カンボジアの両事務所長をゲストに、ユネスコの教育の分野での国際協力を学習する予定であった	台風の影響で中止
7	10月25日	【世界で暮らす日本人】 松山出身でサクラメントを拠点に活動するジャズハーピスト・古佐小基史さんをゲストに、ハーブの鑑賞やアメリカでの仕事や生活体験談等による交流を行った	19
8	10月26日	【書き損じハガキで世界の寺子屋を応援しよう！ユネスコの国際協力②】 ≪松山ユネスコ協会との連携≫ カンボジアのスタディーツアーに参加した高校生から、ツアーの様子を紹介を受けたほか、グループごとに‘ユネスコ世界寺子屋運動’のためのポスターを作成した	12
9	11月30日	【のぞいてみよう！国際協力の世界②】 ≪JICA四国との連携≫ ○元青年海外協力隊員体験談：ベトナム ○ワークショップ： 「世界の食卓」ワークショップを通して、世界の食について知ることができたほか、‘幸せ度’について一人一人が考えた	34
10	2月15日	【のぞいてみよう！国際協力の世界③】 ≪JICA四国との連携≫ ○元青年海外協力隊員体験談：ジンバブエ ○ワークショップ： 「もし世界が100人の村だったら」人口密度や貧富の差を感じることでできるワークで、世界の状況を実感した	21
合 計			220

(3) ESDコーディネーター派遣

ESD(持続可能な開発のための教育)の専門家であるNPOを学校へ派遣し、頭で理解するだけでなく実際に行動へ移す国際理解教育を支援した。

	学 校	内 容
1	小野中学校 2年生 20人	モザンビークでの滞在や現地の様子について写真や動画を活用しながら体験談を紹介。その後ESDリレー刺繍を体験するワークショップ等を実施した
2	愛媛大学附属 小5,6中3高1 計516人	昨年度に引き続きESDの視点を加えた授業展開の在り方について検討した。当日は、小中高校生などを対象にESDリレー刺繍を題材にした講演等を行った
3	新玉小学校 3,4,6年生 計93人	モザンビークについての学習を振り返り、現地で本当に必要な支援物資は何か考えたうえで、支援物資を集めモザンビークへ送る等した
4	宮前小学校 6年生 85人	これまでに学習したさまざまな国の現状について生徒が発表した後、世界で起こっていることやモザンビークでの活動の紹介等を行った
5	雄郡小学校 6年生 88人	モザンビークの市民が回収した武器を活用して現地の芸術家が作った「武器アート」から、これからの平和について考える等した

(4) 外国語(英語) de おしゃべりジュニア編

中学生とネイティブスピーカーがグループになり、遊びやゲームを英語だけでやり取りすることで、楽しみながらコミュニケーション能力の向上を図った。

月 日	内 容	参加者数(人)
5月25日	ジェスチャー&ピクチャーゲームほか	中学生 29 外国人市民 6
9月7日	宝探しゲームほか	中学生 31 外国人市民 4
3月1日	ビンゴゲームほか	中学生 28 外国人市民 6
合 計		中学生 88 外国人市民 16

5. 地域交流サポート

地域や団体の協力を得て、お祭り等の地域行事へ外国人市民の参加を促し、地域住民との交流の場をコーディネートすることにより、外国人市民の地域社会への溶け込みと多文化共生を図った。

(1) 地域や団体の行事への参加

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	5月8日	【二之丸薪能】 松山市文化協会の招待により、外国人市民が伝統文化を觀賞	10
2	5月11日 ～12日	【二之丸大茶会】 愛媛県茶道連盟松山支部の招待により、外国人市民が伝統文化を体験	34
3	9月24日	【松山城薪能】 外国人留学生が、日本の伝統文化を体験	5
4	10月6日	【銀天街神輿パレード】 銀天街第一商店街振興組合が運行する神輿パレードに外国人市民が参加し、日本の伝統行事を通して、地域住民と交流	2
合 計			51

※ その他、各種団体の協力や依頼により、様々なイベントへの招待や、参加呼びかけ、ボランティア活動・祭りなど地域行事への参加もあり。

(2) 学校のクラブ活動での文化体験

外国人が日本文化を体験する機会として、学校のクラブ活動へ参加させてもらうとともに、受け入れる生徒・学生にとっても国際交流体験の機会とした。

月 日	学 校 名	出 身 地	参加者数 (人)
7月 4日	東雲女子大学 着装部 (ゆかた着付け)	中国	4
8月 9日 31日	新田青雲中等教育学校 (弓道)	バルバドス	2
合 計			6

Ⅲ. 基盤整備事業

外国人市民に対する情報発信等により、その生活をサポートする。また、一緒にサポートしてもらえる人材の育成や団体の活動の活性化を図ることで、“人・物・情報をつなぐネットワークづくり”を行い、協会が地域の国際交流の“拠り所”となるよう努めた。

1. 国際交流市民ボランティア入門講座

市民を対象に、地域の国際化の現状を理解するための入門講座と、地域で活動する国際交流団体によるガイダンスの場を設けることで市民とのマッチングを図った。また、中学生を対象に「ジュニアボランティア入門講座」を開催し、幅広く人材育成に努めた。

○入門講座

- ・日 時：12月4日
- ・受講者数：32人
- ・内 容：環太平洋大学短期大学部の奥村三菜子氏を講師に迎え、「やさしい日本語」について理解を深めた

○国際交流団体による活動紹介

- ・日 時：1月18日
- ・内 容：「地球人まつり in まつやま・えひめ2015」に参加し、愛媛県内の国際交流団体から、活動の紹介を受けた

○ジュニアボランティア入門講座

- ・日 時：11月23日
- ・受講者数：中学生16人
- ・内 容：アジア・アフリカの民間支援団体「アジアキッズケア」において、外国人市民とともに、ウガンダのワトト村への支援物資の荷づくり作業等の体験

2. 交流ボランティアのための語学講座

地域での交流やボランティア活動に市民の“外国語能力”を活かせるよう、語学やコミュニケーション能力のスキルアップ講座を開催した。

また、これらの受講者を含めてボランティアガイドに登録し、活動してもらうことで、市民参加の拡大に努めた。

(1) ボランティア語学講座

観光・文化施設の案内など、ボランティア活動に必要かつ実践的な語学の習得を図った。

講座名		前期（4～9月）	後期（10～3月）
ハングル	上級	13回・登録者21人	13回・登録者15人
中国語	上級	13回・登録者15人	13回・登録者11人
英語	平日	15回・登録者60人	15回・登録者60人
	土曜集中	5回・登録者28人	5回・登録者30人

・各講座とも、観光施設等において実地研修を行うフィールドワークを実施。その際、外国人市民をゲストに招き、実践を想定するなど工夫も行った。

(2) ボランティアガイド活動

登録者による観光ガイドやイベント通訳等の支援を行った。

《ボランティアガイド登録：99人》

	月 日	内 容	種別	派遣人数 (人)
1	4月 5日	韓国人との国際結婚に際して両家顔合わせの際のお手伝い	通訳	1
2	4月11日	韓国観光高校（修学旅行）松山城案内	ガイド	1
3	6月13日	フライブルク・バッハ合唱団メンバーの松山城・道後観光案内	ガイド	2
4	8月 9日	ロシア人来訪者の松山城の案内	ガイド	1
5	9月21日	EU俳句優勝者の道後温泉・松山城案内	ガイド	1
6	10月25日	瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会受付の通訳	通訳	9
7	2月 8日	愛媛マラソンに伴う平澤市訪問団の松山城 観光	ガイド	2
8	2月 8日	愛媛マラソン参加の平澤市の選手を終了地点で出迎え	通訳	2
9	3月13日	「愛媛大学の留学生に道後を体験してもらおう」実施に伴う通訳	通訳	2
合 計				21

3. ホームステイ・ホームビジット振興

日本の文化や家庭生活の体験を希望する外国人に対し、ホストファミリーをマッチングし、ホームステイ・ホームビジットを行うことにより、実際のふれあいを通して異文化交流、相互理解を図った。

《ホストファミリーバンク登録：102家庭》

	期 間	受入 家庭	受入人数 (人)	内 容
1	4月10日～ 4月11日	19	31	韓国観光高校
2	5月23日～25日	15	19	愛媛大学のアメリカ人短期留学生
3	5月30日～ 6月 2日	1	2	ポーランド人来訪者
4	7月21日～24日	1	2	フランス人来訪者

5	9月5日～7日	7	9	愛媛大学のアメリカ人短期留学生
6	11月7日～9日	16	25	ミャンマー人大学生 (JICE 関西からの依頼)
7	1月10日～12日	2	4	愛媛大学のアメリカ人短期留学生
8	2月27日～ 3月1日	13	27	インドネシア人大学生 (JICE 関西からの依頼)
合 計		74	119	

※このほか、登録ホストファミリーの座談会を開催し、情報の共有や疑問点の解消に努めた。

○My Matsuyama Family

留学生に松山を“第二の故郷”として親しんでもらえるよう、松山での家族とってもらえる家庭と引き合わせ、4か月を目安として、ホームステイに限らない自由な交流を行ってもらい「My Matsuyama Family」を実施した。

- ・ 交流実績：春季（6月～9月）：4カ国15人の留学生が15家庭と交流
 秋季（11月～2月）：10カ国25人の留学生が20家庭と交流
- ・ 登録家庭：110家庭

4. 生活サポートボランティア派遣

外国人市民からの相談に対し助言を行うとともに、必要に応じて登録制の生活サポートボランティア“オタスケマン”に同行してもらい、サポートを行った。

《オタスケマン登録者数：医療136人・日常303人》

(1) 医療同行サポート

	月 日	内 容	派遣人数 (人)
1	6月4日	大腸がん検診時の通訳	1

(2) 日常生活サポート

	月 日	内 容	派遣人数 (人)
1	4月～	小学生男児の家庭での日本語教育サポート	3
2	8月 9日	市役所での転出手続に同行	1
3	12月19日	勝岡運転免許センターでの免許切り替えに伴う通訳	1
4	2月26日	保育園の入園に関する手続きに同行サポート	1

(3) 愛媛大学留学生来日手続き…市役所・銀行・大学での書類記入サポート

	月 日	内 容	派遣人数 (人)
1	3月11日	市役所での手続き同行サポート	1

5. 民間国際交流団体等助成・支援

(1) 姉妹・友好都市との交流助成

姉妹・友好都市との交流促進を目的として民間団体等が実施する訪問・受入事業に対し、助成金を交付し、市民主体の友好親善の促進を図った。

	月 日	事 業 内 容	助成金額 (総事業費)
1	6月6日 ～ 6月15日	<p>交付先：松山バッハ合唱団 事業名：第5回松山・フライブルク姉妹都市交流演奏会及び交流事業</p> <p>内 容：平成6年から交流が続くフライブルク・バッハ合唱団団員が合同演奏会に参加するため来松。演奏会に参加するだけでなく、この機会を利用して、日本文化に対する理解を深め、ホームステイなど市民との交流活動も行った。</p> <p>主な経費：日本文化体験プログラム</p>	200,000円 (1,264,727円)
2	7月29日 ～ 8月10日	<p>交付先：ボーイスカウト松山地区協議会 事業名：第15回姉妹都市交流ボーイスカウト松山地区サクラメント派遣事業</p> <p>内 容：内 容：スカウト4人、指導者1人でサクラメント市を訪問。同市のボーイスカウトとのキャンプやホームステイによる交流を行うとともに、市長表敬やマツヤマ小学校訪問により、親睦を深めた</p> <p>主な経費：渡航旅費</p>	200,000円 (3,180,964円)
3	8月22日 ～ 8月26日	<p>交付先：松山・平澤友好協会 事業名：平澤市での語学研修及び平澤国際交流協会との交流事業</p> <p>内 容：協会会員12名が、平澤市を訪問。平澤国際交流協会会員宅にホームステイしながら、平澤大学校での語学研修を行った。また、文化体験のプログラムなどを通して、交流を深めた</p> <p>主な経費：渡航旅費</p>	200,000円 (1,036,803円)

4	9月18日 ～ 9月24日	<p>事業名：2014 国際平和デー・サクラメント派遣事業</p> <p>内 容：カリフォルニア州議事堂において開催された「国際平和デー」に新田高校と愛大付属高校の生徒ら12人が参加し、書道パフォーマンスや三味線・舞踊の披露したほか、現地の高校2校を訪問し、文化交流を行った。また滞在中は、ホームステイを通じて、交流を深めた</p> <p>主な経費：渡航旅費</p>	200,000 円 (2,395,003 円)
5	8月22日 ～ 8月26日	<p>交付先：平澤港マラソン招待選手団</p> <p>事業名：平澤港マラソンへの参加</p> <p>内 容：平澤市の要請により、選手・役員計5名が同市を訪問。選手4人全員が完走し、ハーフマラソン男性の部では10位に入賞した。会場のブースでは多くの市民やマラソン関係者と交流し、愛媛マラソンへの参加に向けた意見交換も行った。</p> <p>主な経費：渡航旅費</p>	162,850 円 (325,700 円)

(2) 後援

	月 日	事 業 名	団 体 名
1	6月15日	第5回松山・フライブルク姉妹都市交流演奏会	松山バツハ合唱団
2	7月29日 8月10日	第15回姉妹都市交流ボーイスカウト松山地区サクラメント派遣事業	ボーイスカウト松山地区協議会
3	10月11日	第31回マドンナ・レシテーション・コンテスト～中学生英語暗誦大会～	松山東雲中学・高等学校
4	10月11日	第21回カルフル杯英語弁論大会	松山大学 E.S.S 「英語部」
5	12月13日 ～19日	第4回愛媛 LGBT 映画祭 2014	レインボープライド 愛媛
6	12月21日	JAXA 職員大嶋龍男氏講演会 「君も宇宙に行ける！」	(公財) ラボ国際交流センター
7	1月10日	松本安也子 仲間たち演奏会	南海放送(株)

6. 情報発信事業

(1) 情報冊子等による情報提供

生活ガイドブック、防災マニュアル等により、生活情報を外国人市民へ提供するとともに、市民に対しても、姉妹・友好都市紹介等のパンフレットを提供し、国際理解の促進を図った。

また、英語ボランティアガイドクラスが編集した英文情報誌を月に1回発行し、各種情報を提供した。

○月刊英文情報誌「What's Going On?」

毎月約620部発行（公共施設・駅・空港・大学など36か所に設置）

(2) ホームページ・メールニュース・フェイスブックによる情報提供

イベント、講座等の情報のほか、外国人市民向けの生活情報も適宜、掲載・発信し、情報内容の充実に努めた。

○メールニュース

週1回定期発信、登録数：市民 1,481件・外国人市民 665件

(3) まつやま国際交流センター 情報コーナーの整備充実

国内外の定期刊行物や諸外国に関する図書、国際理解啓発DVD等を収集し、市民の諸外国の情勢や生活文化への理解と、外国人市民の日本社会や文化等に対する理解促進を図った。

○図書貸出：70件

(4) 新入学留学生に対するガイダンスの実施

愛媛大学、河原電子ビジネス専門学校日本語学科の新入学留学生に対し、ガイダンスを行い、生活情報を提供するとともに、協会事業の周知を図った。

(5) ラジオ・テレビによる広報

松山市のラジオ・テレビ広報番組を通して、協会の事業の広報を行い、市民への周知を図った。

	月 日	告 知 内 容	番 組 名
1	5月22日	「にほんご de はなそう」の案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
2	8月12日	ボランティア語学講座（後期）・国際交流サロン「マレーシア」の案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
3	10月23日	「国際交流市民ボランティア入門講座」・国際交流サロン「トルコ・ルーマニア」の案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
4	1月 3日	「地球人まつり2015」・「コムズフェスティバル」の案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
5	1月10日	「地球人まつり2015」の案内	テレビ広報番組 「大好き!まつやま」
6	1月12日 13日	「地球人まつり2015」の案内	FM愛媛

IV. もてなしの風土醸成事業

日本語教室や文化体験等、協会が持つノウハウを生かしたプログラムを提供することで、外国人観光客誘致による交流人口の拡大を支援し、外国人が訪れやすい“やさしい風土づくり”の促進に努めた。

1. 日本体験集中プログラム

愛媛県国際交流協会が実施する日本語教室と、本協会が実施する日本文化体験、市民との交流等、県市協会の持つノウハウを生かしたプログラムを提供することにより、姉妹友好都市からの誘客を図り、交流人口拡大に向けた一助とした。

また、参加者に、中学生チャレンジプロジェクトの講師を依頼するなど、本協会事業への参加を促進した。

- ・期 間：8月17日～30日
- ・受入人数：フライブルク市で日本語学習中の市民1人
- ・内 容：E P I C「日本語集中講座」受講（10日間）
個人の協力による茶道体験
松山市役所書道部の協力による書道体験
松山市立桑原中学校箏部講師の招待による箏演奏会体験
松山フライブルク会との料理体験・交流

2. レンタサイクル

海外からの誘客に向けた受入環境の整備の一助として、短期滞在外国人向けのレンタサイクルを設置し、無償で貸し出した。

- ・設置台数 10台
- ・料 金 無料
- ・貸出回数 29回

3. 外国人観光客誘致事業への協力

観光関連機関との連携により、外国人観光客誘致事業に協力し、交流人口の拡大に向けた支援を行った。

松山・台北両市の相互交流促進等の目的で、台北市との友好交流協定締結及び付随する各種式典のための市訪問団に参加した。

- ・10月11～14日 台北市

松山市主催のセミナーに参加し、外国人観光客を地域全体で呼び込むための実践的な取り組みなどの情報収集を行った。

- ・3月25日 外国人観光客誘致のマーケティングや実践に関するセミナー

V. 理事会・評議員会の実績等

平成26年度における理事会・評議員会の開催状況等

1. 評議員会の開催状況

○第1回評議員会

開催日時：平成26年6月4日

開催場所：コムズ4階国際交流会議室

決議事項：平成25年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

出席者：評議員4人、理事2人、監事2人

○第2回評議員会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：理事の選任

出席等：理事の選任に対し、評議員4人全員の書面による同意の意思表示を得た4月10日をもって、評議員会の決議があったものとみなした。

2. 理事会の開催状況

○第1回理事会

開催日時：平成26年5月20日

開催場所：コムズ4階視聴覚室 AB

決議事項：平成25年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

平成26年度公益財団法人松山国際交流協会定時評議員会の招集

報告事項：職務執行の状況

出席者：理事7人、監事1人

○第2回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会給与規程の一部改正

出席等：理事の選任に対し、理事7人全員の書面による同意の意思表示及び、監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た11月30日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第3回理事会

開催日時：平成27年3月27日

開催場所：コムズ4階国際交流会議室

決議事項：平成27年度公益財団法人松山国際交流協会事業計画及び収支予算（案）の承認

理事の選任、理事との取引の承認

公益財団法人松山国際交流協会就業規則の一部改正

公益財団法人松山国際交流協会退職手当支給規程の一部改正

公益財団法人松山国際交流協会姉妹・友好都市との交流事業助成金交付要綱の一部改正

報告事項：職務執行の状況

出席者：理事6人（欠席1人）、監事2人

3. 関連当事者との取引の内容

役職及び氏名	内 容	金 額
評議員 ルース・バージン	5月10・11日に開催した「まつやま中学生海外派遣事業」派遣生徒選考のための面接審査員	24,000円
理 事 楊 泓	「交流ボランティアのための語学講座」中国語における講師 平成26年4月18日から平成27年3月20日の間で、1回あたり1時間30分の講座を26回実施	260,000円